

国などの施策

大阪体育大学

- 2013
 - 1月24日 大阪体育大学の教育にかかわる宣言
 - 4月6日 スポーツ指導者の資質能力向上のための有識者会議(タスクフォース)(同会議委員:土屋教授)
 - 4月6日 文部科学省「スポーツ指導者の資質能力向上のための有識者会議(タスクフォース)」設置
 - 5月27日 文部科学省「運動部活動での指導のガイドライン」作成
- 2014
 - コーチング・イノベーション推進事業モデル・コア・カリキュラム作成事業委員に本学教員が参画(専門研究委員会委員:福田教授・体育学部長、ワーキングチーム座長:土屋教授)
 - 日本体育協会 文部科学省委託事業【コーチング・イノベーション推進事業】コーチ育成のための「モデル・コア・カリキュラム」の作成事業
- 2015
 - 大体大ビジョン2024を策定
 - 日本体育協会 スポーツ庁委託事業【コーチング・イノベーション推進事業】コーチ育成のための「モデル・コア・カリキュラム」作成事業 報告書
- 2016
 - 平成28年度「スポーツキャリアサポート戦略」における「コーチとしてのキャリア形成支援プログラム」
 - 9月 「運動部指導実践論」を開講
- 2017
- 2018
 - 4月1日 「大阪体育大学 スポーツ局」を開設
 - 4月 スポーツ庁「運動部活動改革プラン」(委託事業)の実施
 - 3月 スポーツ庁「平成29年度運動部活動等に関する実態調査報告書」作成
 - 8月 スポーツ庁「都道府県における「運動部活動の在り方に関する方針」の策定状況等について」公表
 - 3月 スポーツ庁「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」策定
 - 6月 スポーツ庁「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドラインFAQ」公表
 - 6月22日 大阪体育大学全学特別講演会(講師:スポーツ庁・塩川達夫 学校体育室室長)
- 2019
 - 3月 スポーツ庁「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」フォローアップ調査結果について」公表
 - 4月1日 「中学校部活動スポーツ指導者派遣事業に関する協定書」を大学所在地である熊取町と締結
 - 4月 運動部活動用指導手引
 - 7月 スポーツ庁「運動部活動改革プラン」を受託

※役職名などは当時のもの

研究責任者

藤本 淳也
大阪体育大学 体育学部 教授・学長補佐(大学ビジョン推進担当)

研究プロジェクトチーム・リーダー

中尾 豊喜
大阪体育大学 体育学部 准教授

研究プロジェクトチーム・メンバー

梅垣 明美
大阪体育大学 体育学部 教授

土屋 裕睦
大阪体育大学 体育学部 教授・学長補佐(研究担当)

富山 浩三
大阪体育大学 体育学部 教授・社会貢献センター長

小林 博隆
大阪体育大学 体育学部 准教授

高本 恵美
大阪体育大学 体育学部 准教授

徳山 友
大阪体育大学 体育学部 准教授

貴嶋 孝太
大阪体育大学 体育学部 講師

陳 洋明
大阪体育大学 教育学部 講師

比嘉 靖
大阪体育大学 体育学部 講師

村上 雷多
大阪体育大学 体育学部 講師

吉美学
大阪体育大学 教職支援センター 次長

木谷 法子
大阪体育大学 教職支援センター 課長

山野 浩明
大阪体育大学 大学事務局 庶務部研究支援担当 課長

瀧 勇紀
大阪体育大学 大学事務局 庶務部研究支援担当 主任

浦久保 和哉
大阪体育大学 スポーツ局 統括ディレクター



学校法人 浪商学園 大阪体育大学

〒590-0496 大阪府泉南郡熊取町朝台1番1号

TEL 072-453-7022 受付時間/9:00~17:00 月~金、土日祝日除く

✉ kenkyu@ouhs.ac.jp

🌐 <https://ouhs-athletics.jp/sportsclubactivityreformplan/>

作成日:2020年3月30日

運動部活動改革推進のための 大阪体育大学の取り組み



運動部活動改革推進への取り組み

INITIATIVES

大阪体育大学では、教員養成やスポーツ指導者の教育と輩出するにあたり、現在の社会的課題でもある「運動部活動の改革」に着目して、2013年1月24日「大阪体育大学の教育にかかわる宣言」による「体罰」と「体罰を是とする教育」を否定、2013年4月から文部科学省が設置した「スポーツ指導者の資質能力向上のための有識者会議(タスクフォース)」への参画を契機に、運動部活動やスポーツ指導に携わる人材の育成・啓発に資する施策に取り組んでまいりました。

そして2019年7月からスポーツ庁委託事業「運動部活動改革プラン」を受託し、これまでの本学での教育や研究実績や様々な取り組みをもとに、各学校の運動部活動の充実に資するような施策や体制の構築とその展開を図るために、大学として学内の教職員で研究チームを結成して事業を推進しています。



委託事業や関連事業の実績

スポーツ庁委託事業2019年度「運動部活動改革プラン」では、運動部活動の指導に関わる本学学生の実態の把握、学校・教育委員会・スポーツ団体などへの運動部活動に係る現状や課題の聴取、そして独自のスポーツ指導者研修の立案と養成プログラムの検討などを行いました。

大阪府泉南郡熊取町: 中学校部活動スポーツ指導者派遣事業



「熊取町×大阪体育大学」研修内容の検討DASHプロジェクトに関する協働協定(2018年3月2日締結)に基づき、熊取町立中学校を対象に本学のシンボルとも言える運動クラブ所属の学生が、当該校のニーズや指導方針に沿って、スポーツ指導を実践した。2020年度は、剣道、野球、バスケットボール部への派遣を予定しています。

「部活動指導員」や本学の「インターンシップ制度」を利用した運動部活動におけるスポーツ指導の事例調査

本学の体育学部や教育学部の1~3年生で、部活動指導員・外部指導者、学生ボランティアなどの立場で運動部活動のスポーツ競技の指導に関わっている学生は41名(過去に関わっていた学生は17名、2019年11月調べ)。また、これから定期的に中学校や高等学校等に出向き、運動部活動の指導を希望する学生が176名(同調査)存在していることが明らかになりました。大阪市や神戸市の公立中学校に部活動指導員としてスポーツ競技の指導を行う学生、インターンシップ生として大阪府立高校の運動部活動でスポーツ指導を行う学生に実態調査を行い、体制の整備に努めました。

運動部活動改革プラン公開シンポジウム



2020年1月24日、学生・大学院生305名が参加して、本学で関西地区の教育委員会やアスリートネットワーク関係者を招き、「運動部改革プラン公開シンポジウム」を開催しました。「部活動指導員・外部指導者の実態」として、大阪市や神戸市、熊取町、岸和田市の公立中学校においてスポーツ指導を実践した学生で、部活動指導員・外部指導者のやりがいや実状についてパネルディスカッションを行いました。その後、大阪府、大阪市、熊取町の各教育委員会担当者から、部活動指導員の任用の実態や課題、展望について説明がありました。なお、本シンポジウムは、運動部活動におけるスポーツ指導を希望する本学学生を対象とした「運動部活動指導者養成セミナー」も兼ねて行われました。

運動部活動などにおけるスポーツ指導者への研修内容の検討

スポーツ庁「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」や日本スポーツ協会「コーチ育成のための『モデル・コア・カリキュラム』」、本学のカリキュラムをふまえて、運動部活動指導者として、教員志望者として、またスポーツ指導者に向けて、以下のような本学独自の研修プログラム内容(案)を構想しました。これを基に、将来的には学生研修に限らず、広くスポーツ指導者の啓発・養成に取り組むことを目指しています。

スポーツ庁「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」で示された研修項目

- ・部活動指導員制度の概要(身分、職務、勤務形態、報酬・費用弁償、災害補償等)
- ・学校教育及び学習指導要領
- ・部活動の意義及び位置付け
- ・服従(校長の監督を受けること、生徒の人格を傷つける言動や体罰が禁止されていること、保護者等の信頼を損なうような行為の禁止等)
- ・生徒の発達段階に応じた科学的な指導
- ・顧問や部活動を担当する教諭等との情報共有
- ・安全・障害予防に関する知識・技能の指導
- ・学校外での活動(大会・練習試合等)の引率
- ・生徒指導に係る対応
- ・事故が発生した場合の現場対応
- ・女子生徒や障害のある生徒などへの配慮
- ・保護者等への対応
- ・部活動の管理運営(会計管理等)

日本スポーツ協会の「コーチ育成のための『モデル・コア・カリキュラム』」の内容

- 【人間力】(思考・判断) コーチングの理念・哲学
(態度・行動) 対自分、対他者力
- 【知識・技能】(共通) トレーニング科学、スポーツ医学
(専門) 現場における理解と対応
- 【実習】 現場実習

本学で独自で検討している実施可能なスポーツ指導者養成の研修項目

- ・スポーツ競技種目の意義・価値
- ・コーチの倫理・規範意識
- ・スポーツ基本法と教育基本法の基礎(学校教育における運動部活動の理解と教育的意義の再確認)
- ・運動部活動における事故と予防(判例研究、リスクマネジメント)
- ・運動部活動におけるハラスメント行為の法的理解(判例研究、リスクマネジメント)
- ・運動部活動における個人情報の保護に関する知識と方法(判例研究、リスクマネジメント)
- ・運動部活動の持続可能性をテーマとしたレポート課題
- ・運動部活動指導に関するテーマとしたグループワークや意見発表
- ・真のスポーツ競技の普及を目指して(基礎編)
- ・各スポーツ競技種目からみたトレーニング活動の心得とICTを含む指導法(競技種目別)